

2003 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 4 年 3 月 2 8 日作成)

委員会名	塗装・吹付け工事（JASS18/23）改定小委員会	主 査 名：近藤 照夫
所属本委員会 （所属運営委員会）	材料施工委員会（内外装工事運営委員会）	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月～2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	1998 年 1 月改定の JASS18 塗装工事と JASS23 吹付け工事は、関連 JIS の制定・改訂や重金属（鉛・クロム等）・溶剤に対する使用規制、建築基準法へのシックハウス対策導入等を受けて改定しなければならない。初年度：基本問題の検討	
委員構成 （委員名（所属））	近藤照夫（ものづくり大学）、本橋健司（建築研究所）、井上照郷（日本建築仕上材工業会）、犬飼達雄（ベターリビング）、大澤悟（竹中工務店）、久保田浩（大成建設）、高橋孝治（日本塗装工業会）、曾我元昭（日本ペイント）西川賢一（大日本塗料）、中島孝之（恒和化学）	
設置 WG （WG 名：目的）	なし	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 （開催日・参加人数）	03.6.30（7 名） 8.8（10 名） 11.5（8 名） 12.12（9 名） 04.2.6（8 名）
得られた成果	（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無） 塗装工事・吹付け工事に関わる技術動向を確認して、2003 年 3 月に刊行した「環境負荷低減のための塗装・吹付け工事に関する技術資料」を基本として、JASS 18 と JASS 23 の改定に関わる基本問題を検討した。検討の途上で、国土交通省「建築工事共通仕様書」が各省庁の仕様書を統一する形で「公共工事建築工事標準仕様書」として改訂されることになり、環境や有害化学物質に対する配慮から、塗装工事に関しては大幅な改訂となることが判明した。したがって、JASS 18 と JASS 23 においても、この内容との整合を図る必要があり、作業量が大きく増加することが予想され、急遽 2 つの小委員会に分けて詳細な検討をする必要が生じた。
目標の達成度	（当初の活動計画と得られた成果との関係） 現行の JASS 18 と JASS 23 の内容を検討して、改定の基本方針は立案され、目次案についても検討が終了している。また、新たに「公共工事建築工事標準仕様書」の内容との整合についても、検討を始めた。2004 年 4 月からは、JASS 18 と JASS 23 を個別の小委員会で、詳細に検討して改定作業を進めることにした。
その他評価すべき事項	塗装・吹付け工事に関する社会的動向や法規制の動きに配慮しながらの改定作業となる。